

平成 16 年度高次脳機能障害支援モデル事業 年次報告
(三重県)

1. 三重県高次脳機能障害者生活支援事業の概要

事業実施期間 平成 13 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月末までの間 4 年間

実施主体 三重県・三重県身体障害者総合福祉センター

予算 32,500 千円 (平成 16 年度分)

概要

高次脳機能障害者生活支援事業の別名を三重県方式と呼称するが、これは「高次脳機能障害者に対して訓練や生活支援（地域生活）をシステマチック（systematic）に包括的リハビリテーションを行うもの」であり、その実施する高次脳機能障害者包括的リハビリテーションネットワークを総称して三重モデルという。

(1) 拠点病院の指定

① 松阪中央総合病院

主に急性期リハを担当するが、高次脳機能障害診断・外来による認知リハビリテーション及び三重県モデルを通過したケースのアフターフォローを実施している。

② 藤田保健衛生大学七栗サナトリウム

主に回復期病棟における入院治療訓練を担当しているが、三重県モデルにおいては、入院による認知リハビリテーションを実施している。

(2) 三重県身体障害総合福祉センター〔以下身障センターと呼称する〕の役割

身障センターでは、新たに高次脳機能障害者支援プロジェクトを立ち上げ、特に神経心理学的評価（臨床心理士を配置）と職業リハビリテーション（職能訓練）に重点を置いている。また、平成 16 年度からは高次脳機能障害者（児）支援コーディネーターを配置し、総合的な相談支援を実施している。機能については、以下の通りである。

① 県内の高次脳機能障害者（児）からの総合相談窓口

② 生活・社会・職業リハビリテーションを担当

手帳なし利用者 入所 5 名・通所 5 名 市町村から措置費相当額を徴収

*平成 15 年度からは支援費相当額に変更

③ 啓発普及

- ・高次脳機能障害生活支援セミナーの開催 年 2 回実施
- ・高次脳機能障害者（児）リハビリテーション講座（当事者・家族対象 年 4 回）
- ・情報発信 身障センターホームページ <http://www.mie-reha.jp/>

2. 三重県高次脳機能障害者生活支援事業連絡調整委員会

三重県高次脳機能障害者生活支援事業が円滑且つ適正に運営されるために事業調整委員会が設置されている。委員については、三重大学医学部他病院医師、行政関係者、当事者団体代表などから構成されている。

また、モデル事業利用者の選定委員会も兼ねており、手帳のないケースの利用決定は、この委員会の裁量に委ねられている。

(三重県高次脳機能障害者生活支援事業連絡調整員)

所 属・職 名	氏 名
松阪中央総合病院 リハビリテーション科 医長	委員長 太田 喜久夫
藤田保健衛生大学 七栗サナトリウム 病院長	副委員長 園田 茂
三重大学医学部 神経内科 助教授	成田 有吾
三重大学医学部 脳神経外科 講師	松島 聡
鈴鹿中央総合病院 精神科 医長	川喜田 昌彦
脳外傷友の会みずほ 三重県支部長	古謝 由美
三重県医療ソーシャルワーカー協会 会長	畑中 寿美
三重障害者職業センター 所長	森田 悦男
三重県身体障害者更生相談所 所長	垣野 隆一
三重県身体障害者総合福祉センター 所長	岡本 武久
三重県身体障害者総合福祉センター 診療部マネジャー	神田 仁
三重県健康福祉部 障害福祉室 室長	脇田 愉司
(事務局)	
三重県健康福祉部 障害福祉室 主幹	石坂 すみ
主査	前葉 俊英
三重県身体障害者総合福祉センター	
経営企画チーム 企画グループリーダー	白山 靖彦
訓練指導チーム 高次脳機能障害者(児)支援コーディネーター	傍島 康氏

(連絡調整委員会開催)

開催日	開催場所	委員出席人数
2004. 6. 8	身体障害者総合福祉センター	10名
2004. 12. 7	身体障害者総合福祉センター	9名
2005. 3. 3	身体障害者総合福祉センター	11名

3. 啓発・普及活動

(1) 高次脳機能障害者生活支援セミナー

本セミナーは、「高次脳機能障害者」を多角的に研修するために、見識者による基調講演を主たる内容とした研修会である。対象は、医師などの医療関係者、市町村福祉などの行政関係者及び当事者・家族である。年2回実施。

(2) 社会福祉施設等への講習会

本講習会は、身体障害者総合福祉センター職員(支援コーディネーター、ケースワーカー)が、直接施設や病院に出向き、高次脳機能障害者の具体的対応方法やマネジメントの直接的助言を行い、ケース会議も開催する。随時開催。

(3) 高次脳機能障害者(児)リハビリテーション教室の開催

日本損害保険協会より、三重県高次脳機能障害者生活支援事業連絡調整委員会に委託された研修事業を三重県では、当事者・家族を対象としたリハビリ教室を県内各地で実施し、最新情報の提供や相談会を開いた。年4回実施

(高次脳機能障害地域支援セミナー開催)

第7回	2004. 9. 11	三重県人権 センター 大研修室	〔基調講演〕 神奈川県立総合リハビリテーション病院 MSW 生方 克之 氏	113名
第8回	2005. 3. 6	三重県人権 センター 多目的ホール	〔基調講演〕 産業医科大学 医学講座 教授 蜂須賀 研二 氏	178名

(現場指導・啓発)

日時	指導場所・研修場所	対象人数	主な対象職種
2004. 7	県内在宅介護支援センター	25名	介護職員
2004. 7	日本職業リハビリテーション学会	100名	学会員

(高次脳機能障害者(児)リハビリテーション教室)

地域	日程	開催場所
中勢地域	2004. 7. 24	藤田保健衛生大学 七栗サナトリウム研修室 午後2時～4時 ※ 15名参加
中勢地域	2004. 9. 25	松阪中央総合病院 多目的室 午後2時～4時 ※ 8名参加
尾鷲地域	2004. 11. 28	尾鷲市健康福祉センター 4階 午後2時～4時 ※ 34名参加
北勢地域	2005. 1. 22	四日市市総合会館 第1研修室 午後2時～4時 ※ 24名参加

4. 視察・見学等の受入れ (高次脳モデル事業関連のみ掲載)

日付	視察・見学施設名	人数
2004. 12. 9	沖縄県 行政担当者	1名
2005. 2. 15	長野県 行政担当者	4名
2005. 2. 18	福岡県 行政担当者	2名
2005. 3. 7	宮城県 モデル事業拠点機関担当者	1名

5. 事業実施内容

(1) 高次脳機能障害モデル事業への登録者（平成16年度のみ）

①総数 9名（男性8名 女性1名）

②平均年齢 44.0歳

③原因疾患の内訳

脳挫傷 7名、 外傷性くも膜下出血 1名、 低酸素脳症 1名

④手帳の有無

手帳なし5名、手帳あり4名（身障4名）

(2) 相談受付状況

①新規相談者数（平成16年度のみ：3月15日現在） 74名

②男子 50名、女子 24名

③市町村別相談状況

12市、11町村、8県外からの相談があった。（三重県全市町村数 47市町村）

(3) 身体障害者総合福祉センター訓練帰結者の状況

◆身障センター訓練帰結状況(平成13年10月～平成17年2月まで)

帰結全ケース数	64名		
性別	男性 55名	女性 9名	
年齢	39.3歳		
身障手帳	有 38名	無 26名（訓練開始時）	
発症後経過	1年未満 24名	1年以上 40名	
訓練期間	平均日数 392.6日		
帰結先	[雇用就労・就学]	新規就労	10名
		復職	15名
		新規就学	3名
		復学	1名
	[福祉就労]	福祉工場	1名
		身障授産	12名
		精神障害小規模作業所	4名
		精神障害者生活援護寮	1名
	[在宅サービス]	身障デイサービス	9名
		療護施設	4名
		在宅復帰	5名

45.3%

28.1%

28.1%

7. 問合せ先

〒514-0113 三重県身体障害者総合福祉センター 担当 白山・傍島まで

TEL059-231-0155 FAX059-231-0356 Email kojinou@mie-reha.jp

7. 三重県方式の概要（フローチャート）

